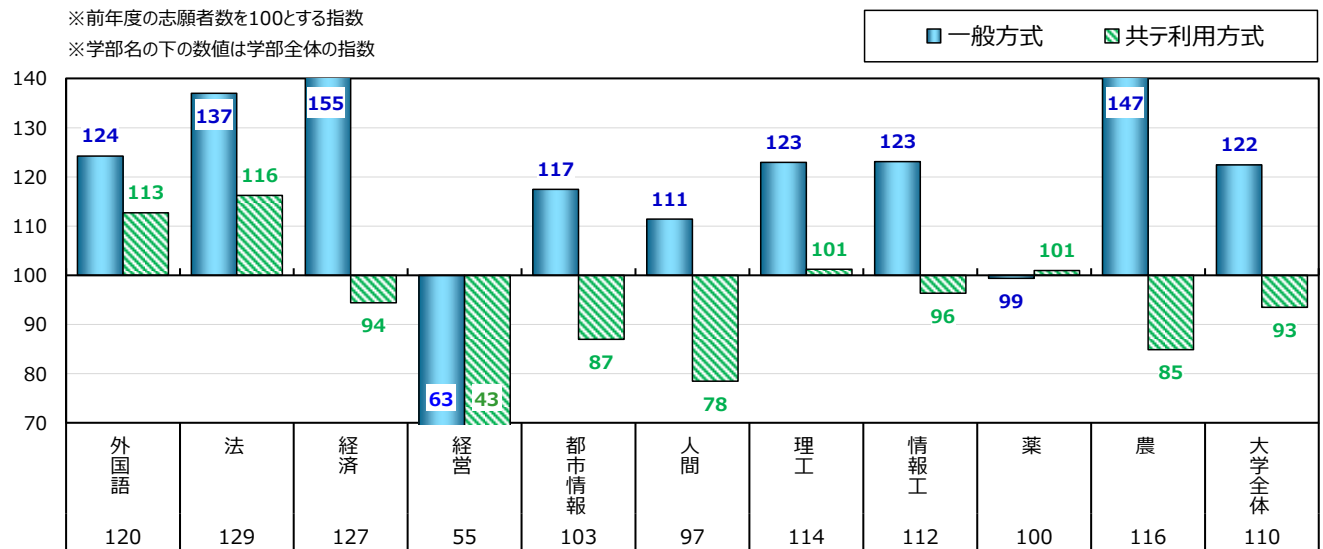


名城大：大学全体では入学検定料割引制度により増加

一般：+5,003人 共テ：-1,073人



主な入試変更点 選抜方法：全学部＜一般・A方式、K方式＞、＜共テ併用・F方式＞
 …出願締切日が共通テスト実施後へ
 …3方式セットでの割引制度の導入 ＜一般・A方式＞35,000円、＜共テ併用・F方式＞25,000円、
 ＜一般・K方式＞25,000円
 →＜一般・A方式＞35,000円、＜共テ併用・F方式＞25,000円
 ＜一般・K方式＞5,000円
 ※同一試験日の出願でK方式の入学検定料を20,000円割引
 法、経済、経営(国際経営)、都市情報、人間、農＜一般・K方式＞…新規実施
 理工(数)＜一般・K方式＞…配点変更 数＜200＞+理＜100＞+外＜100＞=総点＜400＞
 →数＜300＞+理＜50＞+外＜50＞=総点＜400＞

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3,930人(110)の増加。志願者数は4万人を上回った。学部別では、10学部中8学部で増加。方式別では、一般方式は5,003人(122)の大幅増加。既存の募集単位に加え、一部の学部・学科で新規実施し、3方式セットでの出願による入学検定料の割引制度を導入した＜K方式＞(345)は約3.5倍増、新規実施の募集単位を除いた比較でも(214)の倍以上。一方で、＜B方式＞(77)は大幅減少、＜A方式＞(95)はやや減少。共通テスト利用方式は1,073人(93)のやや減少。

<一般方式>
 ○**外国語(124)**は、大幅増加。志願倍率は13.0倍→16.2倍にアップ。
 ○**法(137)**は、大幅増加。志願倍率は8.2倍→11.3倍にアップ、10倍を上回った。新規実施の＜K方式＞を除いた方式別では、＜A方式＞(110)は増加。一方で、＜B方式＞(65)は大幅減少。
 ○**経済(155)**は、大幅増加。学科別では、(産業社会)(421)は5年連続大幅減少の反動もあり、約4.2倍増。(経済)(135)は大幅増加だが、新規実施の＜K方式＞を除いた方式はいずれも減少。
 ○**経営(63)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2021年度以降前年度の反動による大幅な増減が継続。学科別では、(経営)(55)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(国際経営)(118)は2年連続増加だが、新規実施の＜K方式＞を除いた方式はいずれも減少。
 ○**都市情報(117)**は、大幅増加。志願倍率は10.2倍→12.8倍にアップ。ただし、新規実施の＜K方式＞を除いた方式はいずれも大幅減少。
 ○**人間(111)**は、3年連続増加だが、新規実施の＜K方式＞を除いた方式はいずれも減少。特に、＜B方式＞(43)は半減以下。
 ○**理工(123)**は、3年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、10学科全て増加。特に、(交通機械工)(145)、(応用化)(143)、(材料機能工)(134)、(数)(126)、(社会基盤デザイン工)(124)、(電気電子工)(122)の6学科は大幅増加。
 ○**情報工(123)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。方式別では、＜K方式＞(217)は倍以上。一方で、＜B方式＞(80)は大幅減少。
 ○**薬(99)**は、前年度減少の反動はなく前年度並。
 ○**農(147)**は、大幅増加。増加は3年連続。学科別では、(生物環境科学)(167)、(応用生物化)(159)は大幅増加、(生物資源)(110)は増加。方式別では、新規実施の＜K方式＞を除いた方式はいずれも減少で、特に、＜B方式＞(83)は大幅減少。

<共通テスト利用方式>
 ○**外国語(113)**は、6年ぶりに増加。
 ○**法(116)**は、大幅増加。方式別では、＜共テ併用・F方式＞(129)のみ増加。
 ○**経済(94)**は、2年連続大幅増加の反動は小さく、やや減少。学科別では、(産業社会)(122)は大幅増加。一方で、(経済)(88)は2年連続大幅増加の反動で減少。
 ○**経営(43)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2021年度以降前年度の反動による大幅な増減が継続。学科別では、(国際経営)(32)、(経営)(47)と2学科とも大幅減少。
 ○**都市情報(89)**は、2年連続減少。

- 人間(78)は、2年連続増加の反動で大幅減少。
- 理工(101)は、3年連続減少の反動はなく、前年度並。学科別では、10学科中6学科で増加。特に、(交通機械工)(137)、(電気電子工)(119)、(数)(116)は大幅増加。一方で、減少の4学科では、(環境創造工)(61)、(建築)(82)は大幅減少。
- 情報工(123)は、やや減少。方式別では、<共用・F方式>(111)は増加だが、他の方式はいずれも減少。
- 薬(101)は、前年度並。
- 農(85)は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、3学科とも減少。(生物資源)(69)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(応用生物化)(90)は減少、(生物環境科学)(93)はやや減少。